

あなたのカナエルをカタチに

PIPITと一緒に

## 遠賀の起業家が育ってきました。

PIPIT交流会  
起業家フォーラム

遠賀町  
ビジネスプラン  
コンテスト

起業相談

情報発信

PIPITオフィス  
施設利用

遠賀町で起業するあなたを、チャレンジするあなたを応援します。

### 第7回 遠賀町ビジネスプランコンテスト

遠賀町の特産品や地域資源を活用し、遠賀町の地域課題解決につながるビジネスプランを募集し、今年度は19件の応募がありました。

審査の結果、グランプリをはじめとする各賞が決定し、11月24日に、表彰式と受賞者プレゼンテーションを行いました。



遠賀企業賞

・遠賀屋糍(こめのはな賞)

岡崎 慶子さん

プラン名

「遠賀の米・酵素玄米で持続可能な遠賀ライフの実現に向けて」

遠賀町産の玄米を、食物繊維・ビタミン・ミネラル・アミノ酸豊富な「酵素玄米」に加工し、手軽においしく食べられるおむすびと量り売りの事業を展開。店舗を健康寿命延伸と環境に配慮した取り組みの発信源にし、健康で楽しく持続可能な遠賀ライフを送れる健康活動プロジェクトを開始するプラン。



川口 晋平さん

プラン名

「日本全国の高齢者や身体の不自由な方達の生活を『より楽しく』『より豊か』にするためにSELF HELP TOOL(自助具)を広めたい。」

片手のみの生活を送る片麻痺の方のために「色彩やデザイン性が優れた、片手で細かな生活動作が可能になる自助具」を開発。それを使用することによって自分で出来ることが増え、人間としての自信を取り戻してもらい、生活を「より楽しく」「より便利に」「よりスムーズに」過ごしてもらおうというプラン。



遠賀企業賞

・株式会社西部警備保障賞  
・日進化学株式会社賞  
・株式会社ハセガワ食縁SDGs賞

内丸 亮一さん

プラン名

「フードロスを活用したナマズ養殖とアクアポニックスによる農産物生産」

廃棄野菜や残菜などでコオロギを養殖↓それを餌にナマズを養殖↓その飼育水で遠賀町の特産品でもある「フキ」を生産することによって、フードロスの削減効果、サステナブルな養殖で「ナマズ」加工品のブランド化や「フキ」加工品をSDGsと結び付けて新たな商品化を目指すプラン。

※遠賀企業賞は2Pでもご紹介しています。



詳しくは…

遠賀企業賞



株式会社福田工務店賞  
遠賀町空き家活用ネットワーク賞

小島 香名子さん

プラン名

「遠賀を内側から元気に！住む人・働く人が元気な町！大人が元気な町は子供も元気!!」

「結ぶCafe~lotus」は、遠賀郡のお米、農家から仕入れる規格外の野菜、季節に特化した料理の提供と食材を販売し、遠賀町の魅力を知ってもらう町全体の活性化に繋げるプラン。



遠賀町商工会賞  
遠賀信用金庫賞

吉武 麻子さん

プラン名

『おんがみらいテラスすくすくフロア』に「KIDSコン」を作ろう〜遠賀の子育てをもっと楽しくもっと手軽に〜

「KIDSコン」で子育てにすぐ必要なものや子育て世帯に届けたい商品等の販売のほか、消費者とともに遠賀町産の食品やメニューを商品化して地域循環を生み出すプラン。

ビジコンを活用しました



遠賀屋糀  
(こめのはな)  
金田 淳二さん

知ってもらおうことが  
事業の励みです

「遠賀産米粉のスイーツ専門店」で第4回ビジネスプランコンテストのグランプリを受賞しました。自分のテーマ「地産地消」をビジネスプランとして応募し、遠賀町の方に共感してもらえたことで、事業の励みになっています。「遠賀から世界へ」。世界に通じるものづくりと発信のため、気概と夢とロマンを持って進めています。

交流会を活用しました



ガトースール  
下池 里絵さん

素材へのこだわりとSNS発信でファンができました

自宅の新築を機に洋菓子店を開業しました。知人に誘われてPIPITの交流会等に参加し、事業収益の工夫や広報のアドバイスをもらいました。自分で選んだ素材で作っており、遠くからもお客様に来ていただいています。遠賀で次のお店を持ちたいと夢を描いています。

遠賀ではばたく  
起業家たち

起業支援を行う団体による交流会がコロナで開催され、遠賀町内で活躍する起業家が集まり、起業までの道のりや今後の展望を語りました。



手もみ屋でもにゃん。  
松尾 啓太氏

手もみ屋を町内外に2店舗経営。リスクを管理し、良いものをより安くが理念。商店街のボランティア活動にも参加しています。



ベーカリーテント  
入田 政次郎氏

町内でパン職人として働き、その店の閉店を惜しむ多くの声を受け独立。今は食パンを中心に販売。家族と笑顔で暮らしています。



中華バル武遊  
田中 武士氏

四川飯店で修業後独立。宗像を経て出身の遠賀町に移転。新素材加工品や遠賀町特産品創出など地域を盛り上げる活動をしています。



あまねや  
とーごー まさえ氏

関わる人々の生活に溶け込みながら、町内外のヒトやモノが集う「たいやきが食べれるカフェ」を営んでいます。



レンタルスペース アマヤドリ  
花田 憧氏

自然豊かな遠賀町で新たに子育てママさんなどを応援するレンタルスペースを開業。町内の人に様々な場面で活用して頂いています。

セミナーを活用しました



ジモカフェ  
高橋 義和さん

まちの元気な方々との交流が刺激になっています

遠賀の野菜や食材を使った創作料理を提供しています。セミナーに参加して人との交流ができることで新しい価値につながることを感じ、セミナーで出会った講師を訪ねて宮崎へも行きました。食材の豊かさと品質は遠賀の宝であり、まちの魅力として発信しています。



## 『魅力も課題も「体験」から触れて、感じて、味わうSDGs』

今回は、「地域の魅力を体験」「地域課題を体験で解決」「地域の体験を支える」というキーワードのもと、九州一円で活躍している多様な起業家6名が登場しました。

「社長の右腕」から見た、

地域系スタートアップの軌跡とこれから

株式会社キッチハイク 執行役員  
地域アライアンス

川上 真生子氏(福岡)



地域の価値を拡充し、地球の未来へつなぐということとをミッションに、食を通して地域と地域外の人をつなぐ『ふるさと食体験』というオンラインイベントを始め、昨年、イベントに参加した親子にもっと地域と関わってもらうため、ワーケーション『保育園留学』が生まれました。これを新しい文化にして行くことで、地域と都市部の交流がどんどん増えていくのではないかと感じています。

高千穂の風景へつながる

アウトドア事業の展開

合同会社Trailhead代表

福島 優氏(宮崎)



「Trailhead PASSPORT」や農閑期の棚田を活用したサブスク式キャンプ場「タカチホ棚田キャンプ」、「高千穂バックラフト」など悠久の風景や渓谷を体験してもらえる事業を展開しています。高千穂の風景を壊さず、邪魔せず、持続できるようにお手伝いすることが会社の役割であり、地域の皆さんと適切に収益を上げ、自然の魅力を活かして健やかに生活できる環境をつくることを心がけています。

目の前の気になることを少しずつ解決したい

地域の福祉で少しでも幸せに

株式会社ぐくみ代表取締役

野村 順子氏(熊本)



子育ての環境は、子どもだけをどうするかではなくて、まちづくりや世代間の交流ということが必要だと思っています。そこで、自分のスキルを使ってすぐに行えることとして、子どもの食育活動と子ども宿泊体験を始めました。今必要なのは未来をデザインする力だと思います。そして、それをどう組み合わせるか、誰と一緒にするか、そういうことがとても大事だと思います。

地域と畑は自分たちで守る

農家ハンターの挑戦

株式会社イノP 取締役

稲葉 達也氏(熊本)



『地域と畑は自分たちで守る』、災害から地域を守る消防団のように、獣害から地域と畑を守る活動を行っています。また、イノシシの食肉加工を始め、捕獲から解体、販売・教育までやることによって、いろいろな情報やノウハウが蓄積してきました。次は「伝える」と「体験する」です。私たちのチャレンジによって、移住者が増えないかとか、面白い人が来ないかと願って発信をしています。

「宝探しのような旅」は、ドローカルでこそ創れる時をデザインできるお役目、ツーリズム事業はおもしろい

株式会社訪う<sup>おと</sup>代表取締役

日高 葵氏(宮崎)



夜神楽好きが高じて2020年に高千穂町に会社を移転、「誰もが住みたくなる旅先をつくる」というミッションを掲げ、滞在期間中に「どんな時間を過ごしてもらいたいか」をデザインしてインバウンドゲスト向けのツアー開発を進めています。今後は地域の伝統文化と何を掛け合わせるかが大きなミッションになるので、人間が人間として楽しめる商品を作り続けていきたいと思っています。

応援購入サービス「Makake」を活用した  
新商品開発・新事業の始め方

株式会社マクアケ  
九州拠点責任者・セールスマネージャー

宮田 紗良氏(福岡)



「Makake」は、新しいものを作り広めたいという実行者と、自分の趣味嗜好に合った新しいものに出会いたいと思うサポーターをつなげることで、「生まれるべきものが生まれ広がるべきものが広がり残るべきものが残る世界の実現」を目指すアタラシイものや体験の応援購入サービスです。企業の規模や地域に関わらず誰もがチャレンジできる市場づくりに取り組んでいます。



詳しくは…

第43回 5月24日開催

テーマ

「地域の魅力を編み、売り出す〜農業・農村・食から起こすビジネス〜」



「無駄なコストは使わない!?糸島ねぎ農家の六次産業化」〜年間3万本!糸島ねぎ油シリーズが売れるようになるまで〜」  
株式会社Ona 代表取締役 弥富 明子氏



商品の生産能力とターゲットの見極め、原価計算を正確に行った上での価格設定が大事。

「出来ないは出来るに変わる最大のチャンスです」  
Corasita 代表 藤木 浩美氏



自身の行動「やってみる、行ってみる、やり直してみる」で連携や協働が必ず生まれる。

「大谷翔平に学ぶ目標達成のための計画と達成のやり方」身近な事から始める「目標達成シート」の作り方」  
農家民宿具座 代表 藤瀬 吉徳氏



自分の暮らしや地域の課題解決のための目標達成シート作成が事業の方向性を形作る。

第44回 7月26日開催

テーマ

「アイデアから育てた自分のビジネス」



「古民家をシェア型書店に改装地域交流の場へ」空想を現実にする、アイデアの育て方」  
ぼくの書店代表 大西 貴也氏



「話題性があるか」「共感・賛同してくれる人がいるか」「ストーリー性があるか」を考える。

「0から始めるビジネス」  
「自分はこうやって仕事の幅を広げています」  
株式会社Mingo 代表取締役 宮田 誠氏



身近な人脈からお客様との出会いを広げ、作品で自分の「テイスト」や「強み」を表現。

「素材の次の価値を考える」  
「廃材のセレクトショップ マテリアルマーケットの取り組み」  
マテリアルマーケット代表 久保 哲也氏



買った人が完成させる。余白のある商品を作ることで、商品への愛着も生まれる。

第45回 9月21日開催

テーマ

「地域課題を資源に変える起業家」あるもの探しは楽しい」



「人口減少最先端の地から見えてきた、まちづくり会社のあり方」  
株式会社日添 取締役 土屋 望生氏



村人がその地域に住み続ける「楽しみ」を「稼ぎ」を、村外の人も巻き込んで生み出す。

「地域資源を活用したソーシャルビジネスの今」竹の市場と展望」  
LOCAL BAMBOO株式会社 代表取締役 Director 江原 太郎氏



地域課題の解決に向けた商品開発は、地元が存在している関係団体との協業が重要。

「離島で持続可能な経済活動を実現し、人々が自然と共生しながら豊かに暮らせる未来を目指します」  
株式会社Reinos 代表取締役 三田 かおり氏



離島に元々ある資源と新しく取り組む事業で、雇用と経済を創出し、次代へ引き継ぐ。

起業家として各地で活躍の方に、起業までの道のりやどのように事業を展開しているかなどをお話しいただく交流会を定期的に開催しています。詳しい内容はホームページに掲載していますが、登壇者の「起業キーワード」をご紹介します。

新規起業家紹介

暮らしのサポートKOKOROおんが 有富 雄也 さん

まわりの関係者と連携して、お客様に合ったサービスをお届けしています  
病院へのお付き添いや買物の同行など、介護保険では届かない生活支援サービスです。介護施設やケアマネさん達への広報にも力を入れて、今後はレジャーへの同行など「生活が楽しくなるサービス」への拡大も考えています。



Pオフィスから巣立ちました

ヤマガタデジタルフォロー 山縣 鉄平 さん

起業家と出会う機会も多いPIPITでしたが、お客様との出会いを求めて出発です  
パソコンの新規導入やトラブル対応を、お客様の立場に立ってお手伝いしています。PIPITに入居した5年間でビジネスのヒントをもらい、事業も軌道に乗りました。フットワークを活かして地域へのサービスを強化していきます。



あなたの想いを形にしてみませんか。PIPITではアドバイザーが起業相談に応じます。

＜お問合せ先＞

- 遠賀町起業支援施設PIPIT(ピピット)  
月～金 10:30～19:00(年末年始・祝日除く)  
〒811-4307 福岡県遠賀郡遠賀町遠賀川一丁目6番5号  
TEL.093-293-2616 FAX.093-293-8234  
メールアドレス info@pipit-onga.jp
- 遠賀町 産業振興課 商工振興係  
TEL:093-293-8233  
メールアドレス ekimae@town.onga.lg.jp



ホームページ



Facebook



Instagram



メールマガジン登録



2023 March 第9号  
あなたのカタエールをカタチに